

テーマ	果樹農家が親子で耕作放棄地を再生し規模を拡大		
実施年度	平成23年度	解消面積	165a
取組主体	認定農業者	活用事業等	耕作放棄地再生利用緊急対策交付金
発生要因、経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日南市は宮崎県南部に位置し、東は日向灘をのぞみ、約8割が山林で形成される地域。畜産を基幹産業としつつ、温暖な気候と豊富な日照量を活かした超早場米や温州みかん等の栽培が盛んであるが、高齢化や担い手・後継者不足、農産物の価格低迷、鳥獣被害、山間部の狭小な農地など、条件不利地に耕作放棄地が多く発生している。 ・ このような中、市では総合計画により耕作放棄地の解消目標面積を設定しており、農業委員会では計画的な解消を図るため、耕作放棄地の再生や保全管理について、広報誌での周知や農業委員を通じての督励、対策事業の説明等を精力的に実施。 ・ 当地は第2次農業構造改善事業により整備した樹園地であったが、高齢化や価格低迷等により耕作放棄され荒廃が進行、雑木林となっていた。 		
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ みかん農家の取組者は当時の受益者の一人で、規模拡大のため隣接した当地を購入し、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用して165aを再生。 ・ 再生作業は直営施工で所有のパワーショベルを使うほか、みかんの植栽にはブルドーザーを活用し、1日で完了。 		
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生整備に当たって、トラック、スピードスプレーヤーなどの農業機械が利用できるように圃場内に作道を設けたため、収穫、管理など農作業の省力化・効率化が図られた。 ・ 当取り組みを見た近隣農家が、翌年に耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用して耕作放棄地を解消し規模拡大するなど、地域で耕作放棄地解消の機運が高まっている。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥獣被害が想定されることから鳥獣害対策が今後の課題。 ・ 直営施工で事業費を抑える努力はしているものの、解消に係る費用が負担となっている。 ・ 地域の担い手確保のため、解消した農地での安定した営農を引き続き支援する必要がある。 		
事例写真	 <p>耕作放棄地解消前</p> <p>耕作放棄地解消後</p> <p>みかん苗木の植栽</p>		
連絡先	日南市農業委員会 TEL 0987-31-1148(直通)		